


令和5年度 緑の環境調査



佐久市生きものさがし

調査報告書



令和6年3月

佐久市 環境政策課



目 次

はじめに・生物多様性とは	1
調査方法・内容・期間・報告数	2
分布図の見方・注意	3
第1章 調査対象種	
1 フクロウ	4
2 オオムラサキ	6
3 サクラソウ	8
4 ミンク	10
5 オオクチバス・コクチバス	12
第2章 調査対象種以外	
2-1 昆虫類	2-2 植物類
2-3 魚類・両生類・は虫類	
2-4 鳥類	2-5 ほ乳類
2-6 その他	
調査員から寄せられた感想	30
考察専門員の先生から	31
まとめ	33

はじめに

「緑の環境調査」は、市の自然環境の状態を探るとともに、環境保全に対する市民の皆さんの意識高揚を図る目的で、平成4年度から実施しています。

毎年度調査対象種を選定し、市民の皆さんからの目撃・確認報告をしていただくことで、市内の生物多様性を把握する資料ともなっています。

平成30年3月に「佐久市生物多様性地域戦略」を包含した市の環境行政の基礎となる「第二次佐久市環境基本計画」を策定し、令和5年3月にはこの計画の検証を踏まえて改訂版を策定しました。その中で指標生物に定められた15種の中から5種を選定し、今年度の「佐久市生きものさがし」を実施しました。

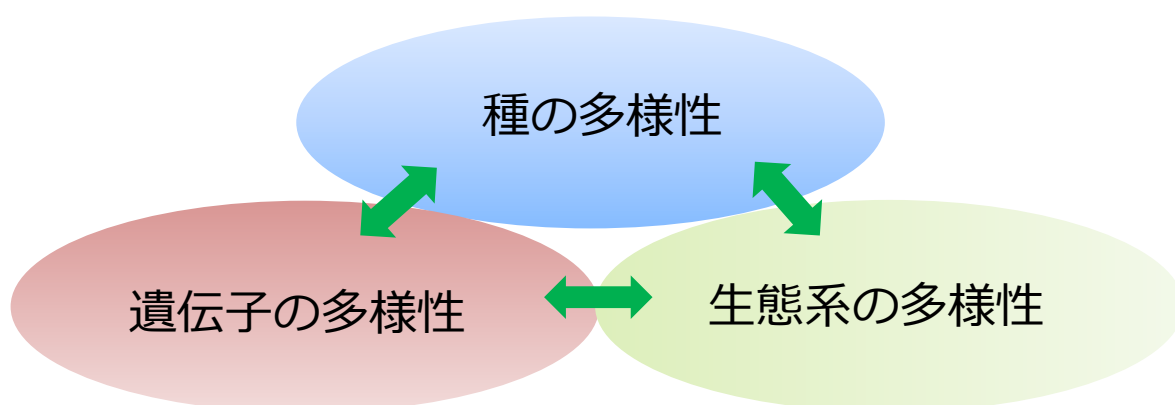
生物多様性とは

生物多様性とは、生物の豊かな個性のつながりのことです。地球上の生物は40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生物が生まれました。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接的・間接的に支えあって生きています。

生物の多様性に関する条約では、「生態系の多様性」、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」の3つのレベルで多様性があるとしています。

生物多様性の保全には、地球温暖化対策と同様、早急な対応が必要です。

多様性の3つのレベル



生態系の多様性：草地や森林、海洋などさまざまな生態系のこと

種の多様性：さまざまな動植物が生息・生育していること

遺伝子の多様性：同じ種でも個体ごとに遺伝子がさまざまであること

調査方法

ハガキ、メール、電話、FAX、LINE、Twitterにて報告をいただきました。

また、市立図書館や佐久市子ども未来館等にも報告コーナーを設けました。

その他に、学校や家庭での地球温暖化防止に向けた活動を推進するため、「わが家のエコ課長」を委嘱している市内の小学4年生の皆さんにもご協力いただきました。



調査内容

佐久市内で見つけた、調査対象種 5 種とめずらしい生きものや見たことのない生きもの、見つけた生きものについて、「種類」「場所・環境」「日にち」「数・特徴」「気づいたこと・感想」を報告していただきました。

調査期間

令和5年4月1日～令和5年12月31日

報告数

923 件

※1つの生きものを1件とする。

(内訳) 一般： 182 件

小学生： 741 件

分布図の見方

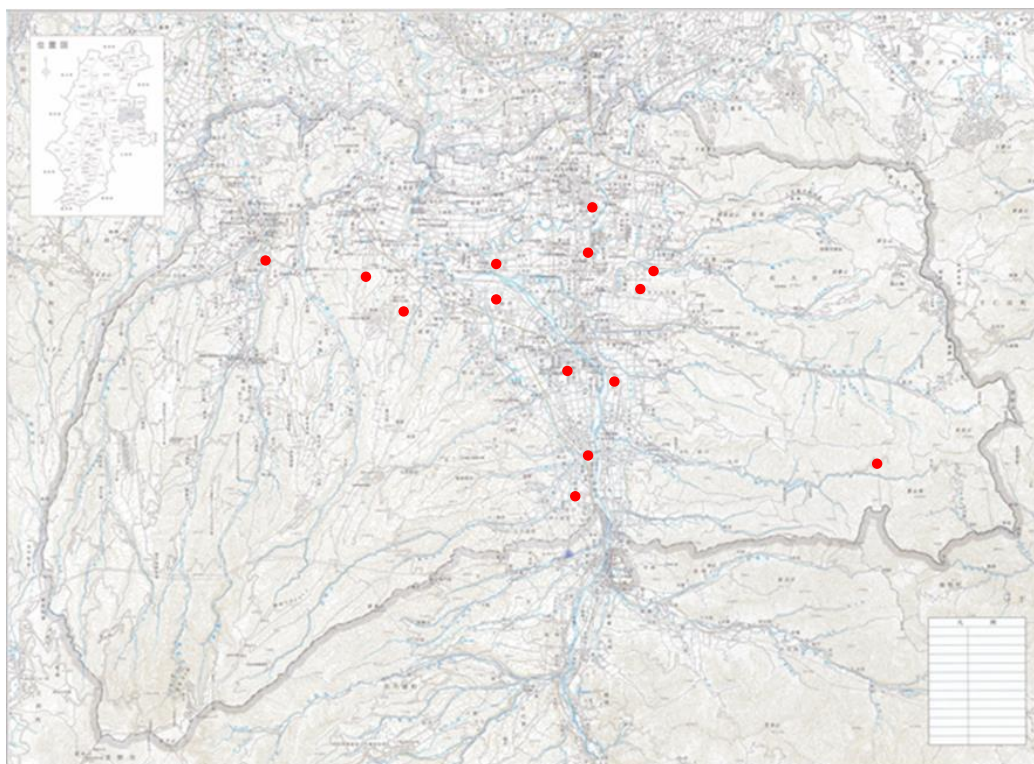
結果の分布図は、報告により場所が分かるものを記載しています。

したがって、報告で場所が特定できなかったものは記載していません。

また、同一地点で複数の報告があった生きものもいます。

そのため、報告件数と分布図上の地点数は一致していません。(下図参照)

(例図) 報告件数 25 件、場所の特定ができた報告 18 件 (同一地点 4 か所)、
報告場所不明件数 7 件



注意

この調査は市民の皆さんにご協力いただき、身近な場所や出かけた先で見つけた生きものを報告していただいています。

そのため、どこにどんな生きものがいたかということを示すものであり、そこにいる数を示すものではありません。

また、市内全域について調査を行っているものではないため、記載のない場所にその生きものはいないということを示すものではないということをご了承ください。

第1章 調査対象種

1 フクロウ類

特徴

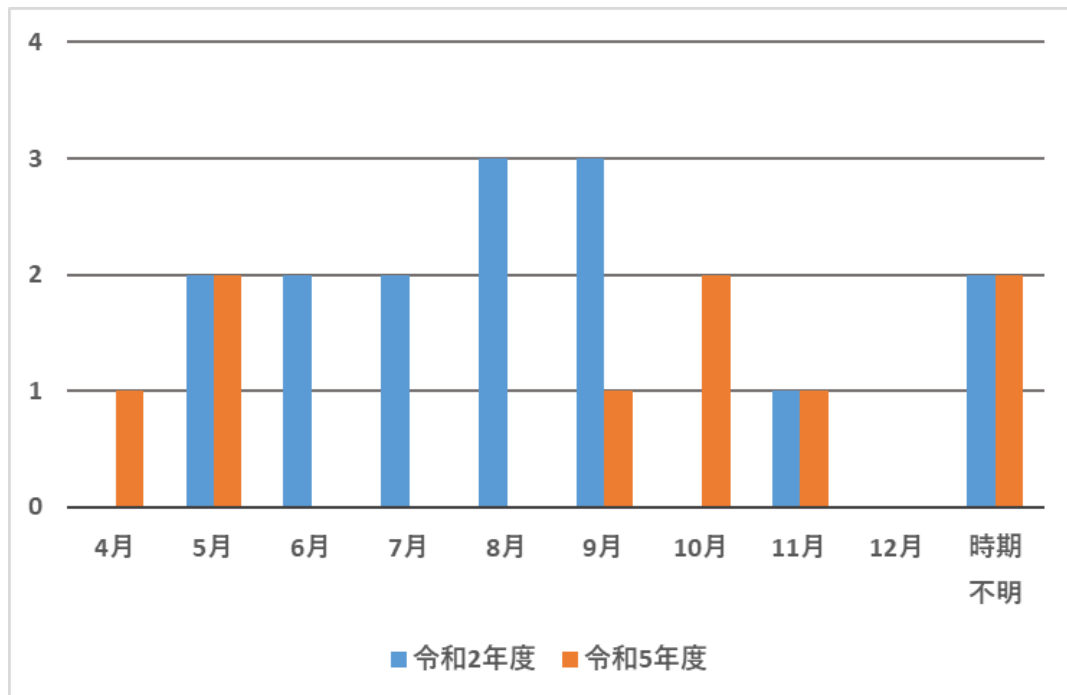
- ・フクロウ目フクロウ科
- ・大きさは、種類によって20～60cm程度とさまざま
- ・低山から山地の林に棲む。大木のうろに営巣する
- ・夜中に活動するが、昼間に見られることもある
- ・「ゴロスケ、ホッホ」と鳴く



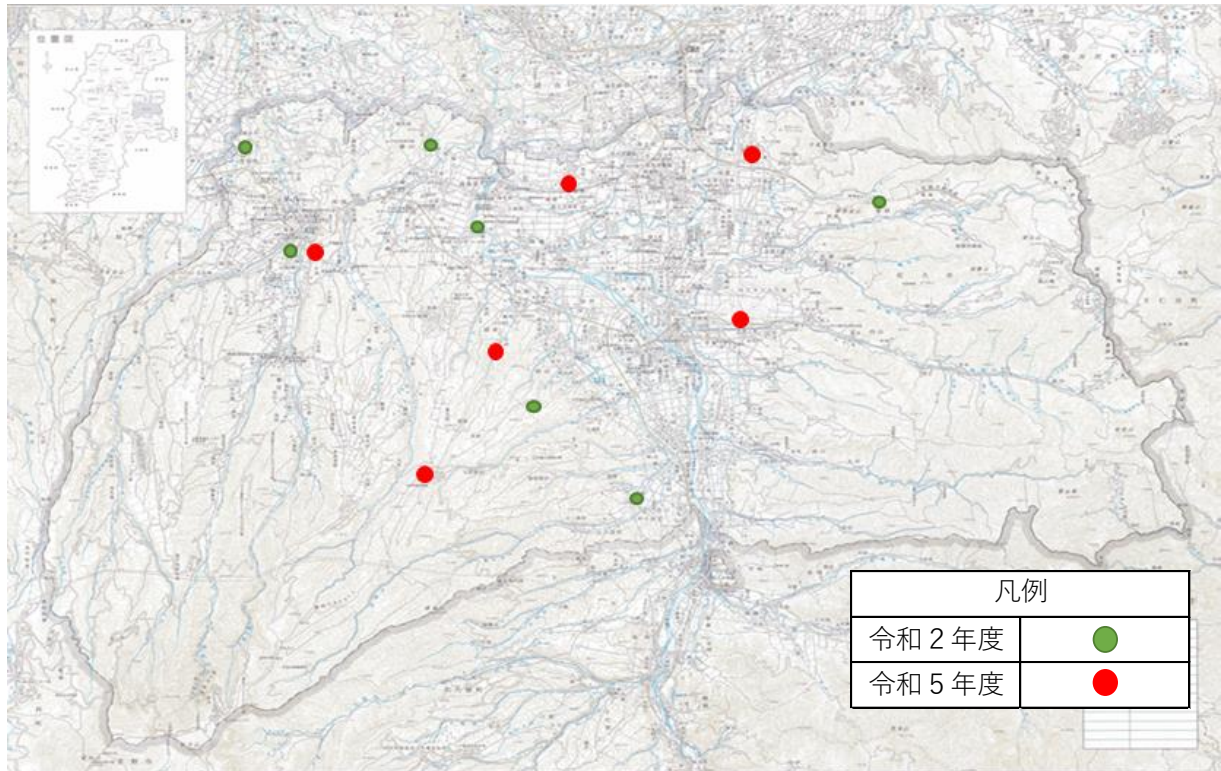
報告件数 9 件

見つけた時期

(件)



分布図



フクロウは季節的な移動をしない留鳥です。

そのため、1年を通して見つけることができる可能性がありますが、その反面、夜行性の鳥であるため、姿を見ることは難しいです。今回9件の報告のうち6件が「鳴き声のみ聞こえた」というものでした。

報告場所は、協和や根岸、平尾山といった林の多い場所に加え、より人里に近い塚原や瀬戸などでも報告がありました。生息地は市内のほぼ全域にわたっているようです。

フクロウの首がよく回るのはなぜ？

フクロウの仲間は首の骨の数が14個あり、左右にそれぞれ270度も首を回すことができます。ちなみにヒトの首の骨の数は7個で、回旋角度は70度程度であり、フクロウはヒトの3倍以上回ることになります。

フクロウは眼球が骨にくっついていて、視野も広くないため、首を回して空間認識をしているのです。

2 オオムラサキ

特徴

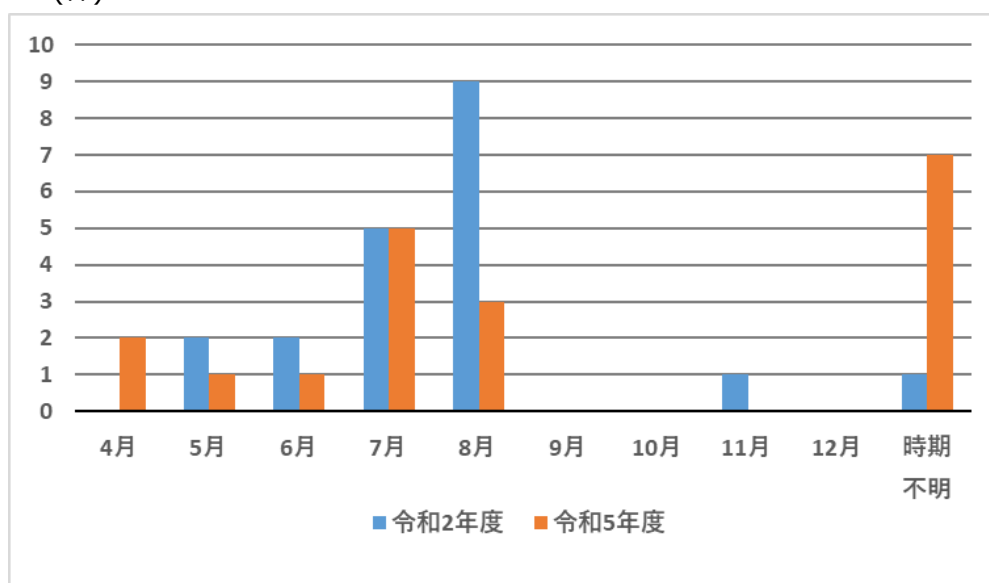
- ・チョウ目タテハチョウ科
- ・大きさは5 cm 程度
- ・成虫は樹液などをエサとし、
幼虫はエノキなどの木の葉をエサとする
- ・環境省レッドリスト 準絶滅危惧種



報告件数 19 件

見つけた時期

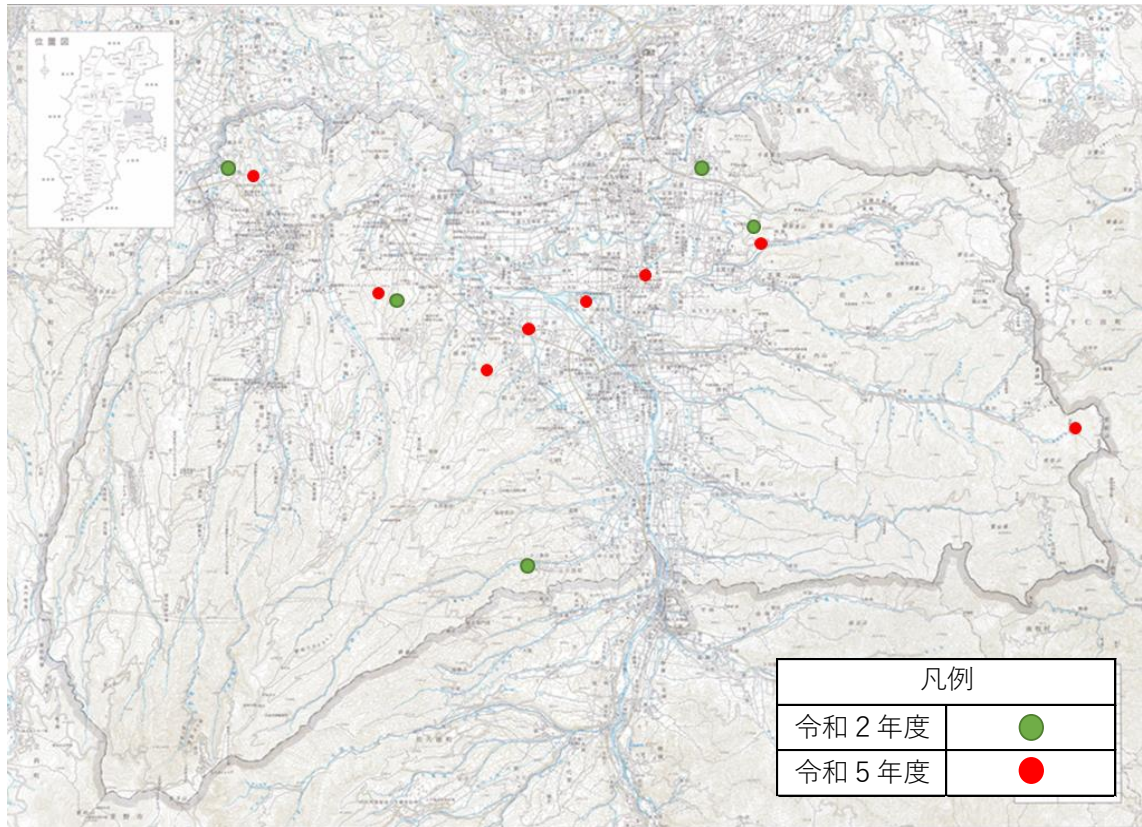
(件)



都市化が進み、雑木林が少なくなってきたことで、個体数の減少が危惧される生きものです。成虫は、6月下旬から7月下旬に羽化し、8月に産卵すると、親蝶は死んでしまいます。そのため、報告時期が7月～8月に集中していると考えられます。

前回調査では、オオムラサキの生育にかかわる樹木(エノキやクヌギ等)がある可能性の高い山間部での報告が多くありましたが、今回調査では中込や平賀の公園等でも報告がありました。

分布図



調査員からの写真



茂田井(オス)



東立科(オス)



東立科(メス)

オスとメスではこんなにも色が違い

ます！メスはオスよりも大きく、

飛ぶ姿は大迫力！

3 サクラソウ

特徴

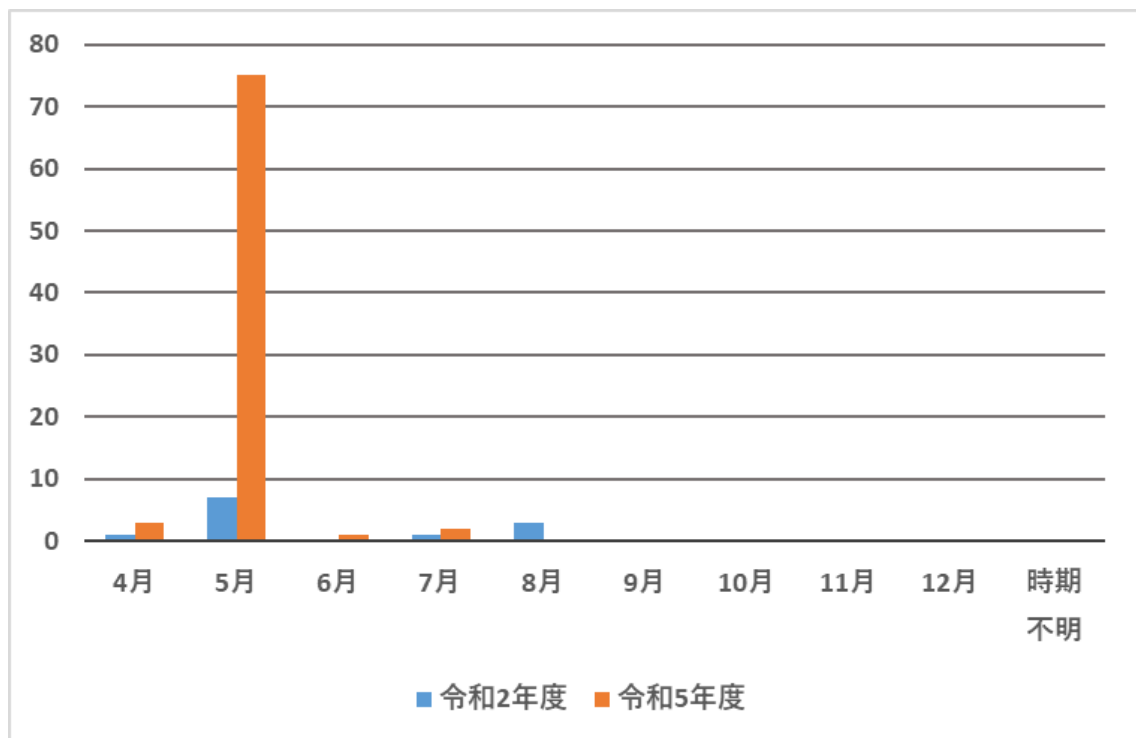
- ・ サクラソウ目サクラソウ科
- ・ 花期は4～5月
- ・ やや湿性の草地が適地だが、生育地が減っている
- ・ 花はサクラに似ていて、多くの園芸品種が生まれているが、野生のものは絶滅が危惧されている
- ・ 環境省レッドリスト 準絶滅危惧
- ・ 長野県版レッドリスト 絶滅危惧Ⅱ類



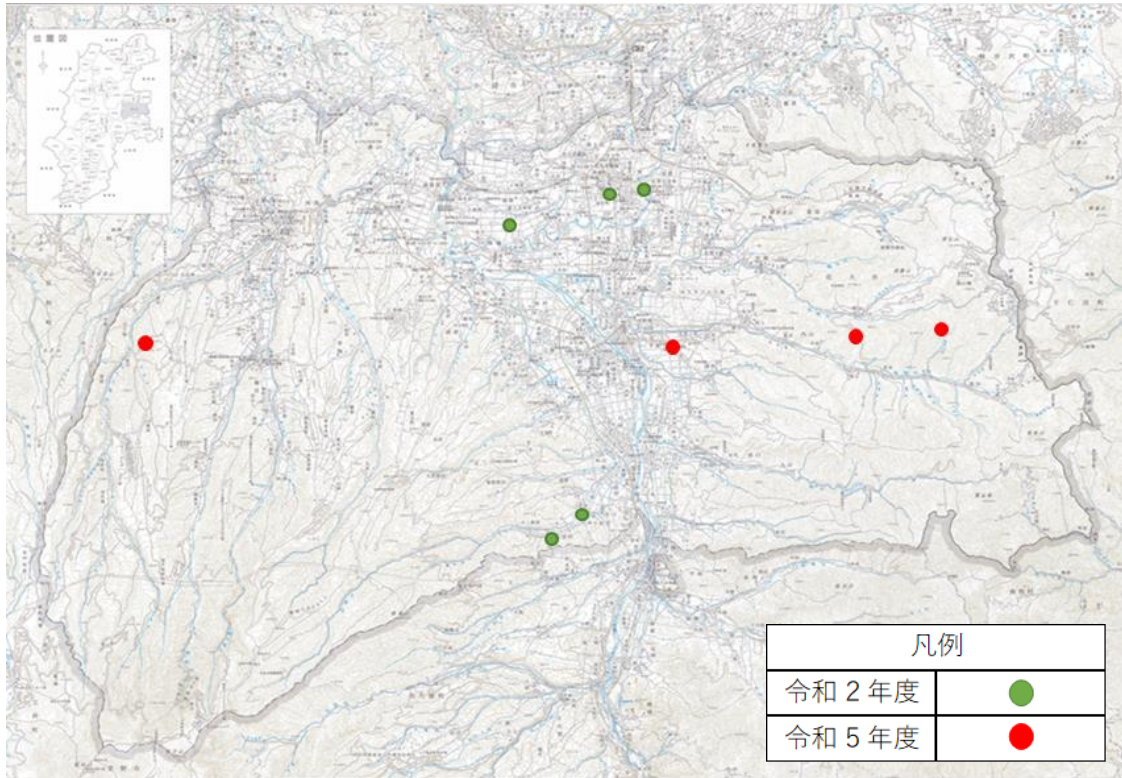
報告件数 81 件

見つけた時期

(件)



分布図



サクラソウは多年草であるため、何らかの理由により完全に枯れてしまわない限りは毎年同じ場所で見ることができます。しかしながら前回調査と今回調査では、報告場所が重なりませんでした。報告がなかったからといって絶えてしまったということではないですし、新しい場所で見ることができたのは絶滅が危惧されるサクラソウにとって嬉しいことではないでしょうか。

5月に報告件数が多いのは、佐久城山小学校の児童のみなさんが常和で見つけてくれたためです。その他、通学路や自宅の庭で見つけたという報告もありました。

調査員からの写真



志賀



内山

4 ミンク

特徴

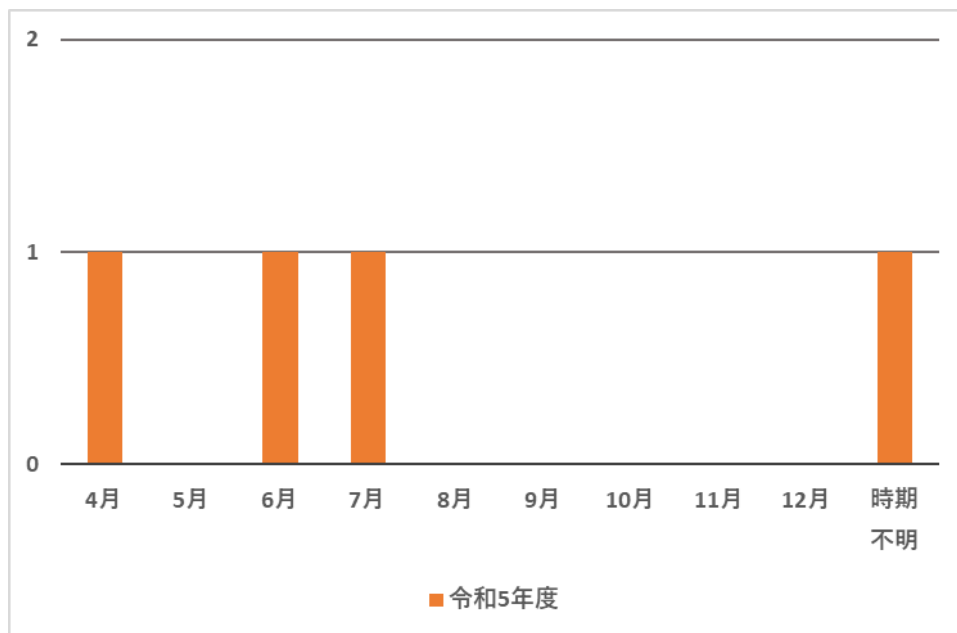
- ・食肉目イタチ科
- ・河川、湖沼などの水辺に生息する
- ・夜行性だが日中も活動する
- ・水中に潜って魚を捕るほか、哺乳類や鳥類も捕食することがある
- ・毛色は黒褐色、黒色、灰色と様々
- ・在来生物や養魚などへの捕食被害も数多く報告されており、生態系や農林水産業に問題を引き起こす生き物として、外来生物法に基づき「特定外来生物」に指定されている。



報告件数 4 件

見つけた時期

(件)

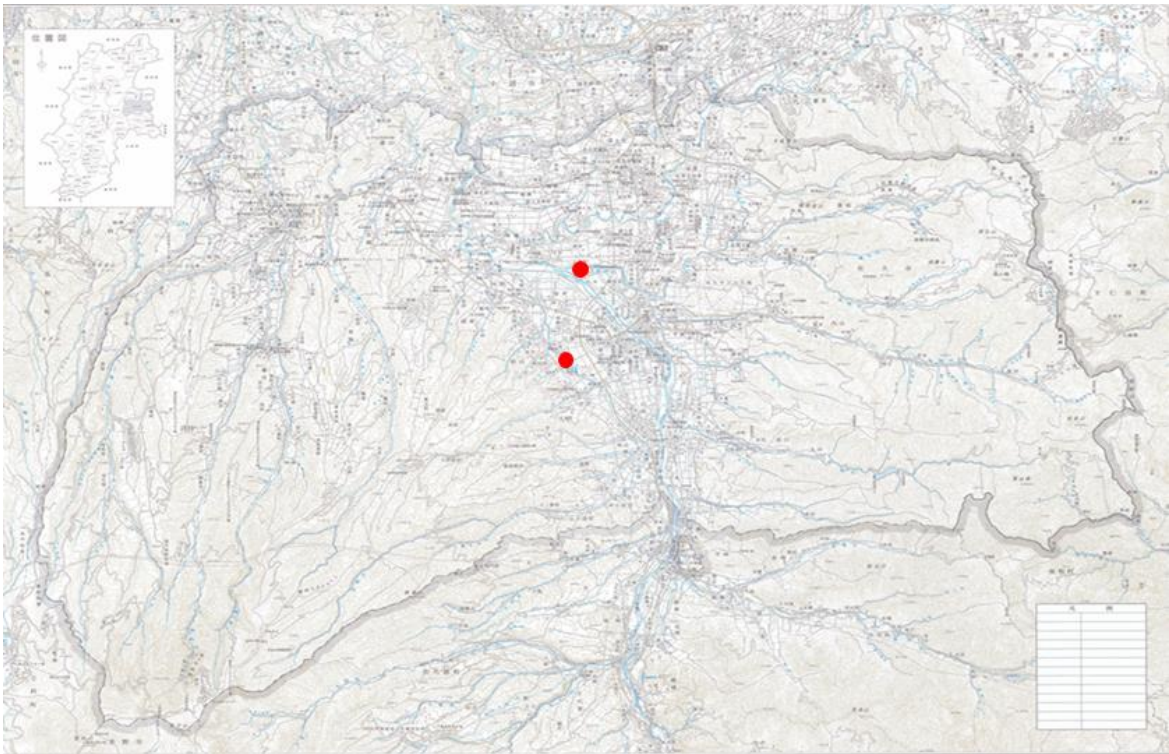


出典

※1 環境省ホームページ

外来種写真集 (<https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/asimg.html>) を加工して作成

分布図



日本では、毛皮目的に養殖されていたものが逃げ出して野生化しました。北海道の河川沿いに広く分布し、近年は本州でも長野県、宮城県、福島県、群馬県などで野生化が確認されています。

今回の報告場所は、中込の「杉の木貯水池」と大沢でした。この付近の木や岩などの下に巣穴をつくり、水辺をえさ場としている可能性があります。

ミンクは気性が荒く狂暴なので、見つけても近づいたりエサをあげたりしないようにしましょう。

ミンクとイタチの違いは？

アメリカミンクとニホンイタチは大きさや模様で見分けることができます。

アメリカミンク…頭胴長はオス 35～54 cm、メス 30～45 cm、尾長は 15～20 cm 程度。

毛は密生し、つやがあります。野生のものは、毛色が茶色から黒に近い黒褐色で、顎や喉に白斑のあるものもいます。

ニホンイタチ …頭胴長はオス 27～37 cm、メス 16～25 cm であり、アメリカミンクよりも小型です。

体色は茶褐色から赤褐色で、目から鼻にかけて、はっきりとした黒いマスク模様があり、鼻から顎、首にかけては白斑がある。

5 オオクチバス・コクチバス

オオクチバスの特徴

- ・体の側面に太く黒い縦条が1本入る
- ・口が大きい（上あごの後端が目の後端より後方に位置する）



コクチバスの特徴

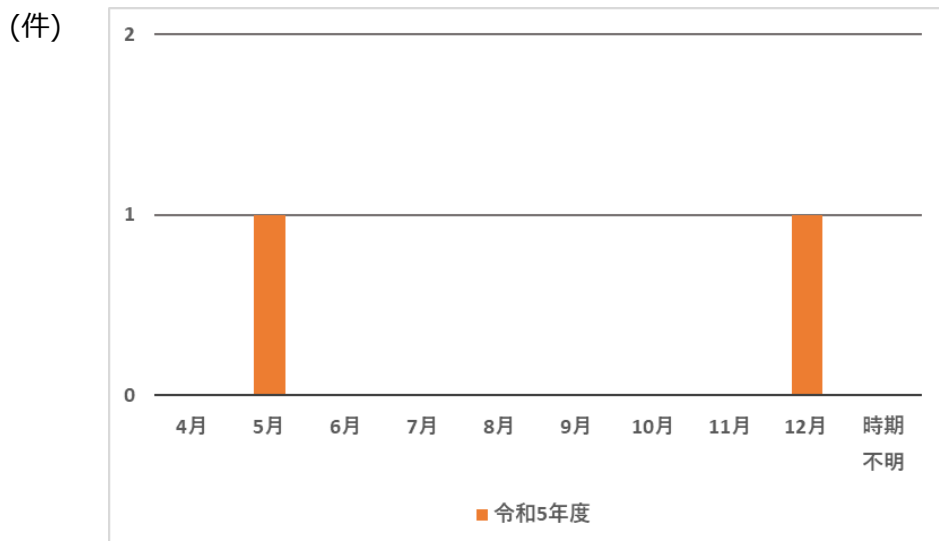
- ・体の側面に不規則な暗色の横帯が入る
- ・口が小さい（上あごの後端が目の中央より前方に位置する）



- ・スズキ目サンフィッシュ科
- ・肉食性で、魚やカエル、水生昆虫、エビ、カニ等に至るまで、動くものはなんでも捕食し、漁業にも深刻な影響を与えている「特定外来生物」。

報告件数 2 件

見つけた時期



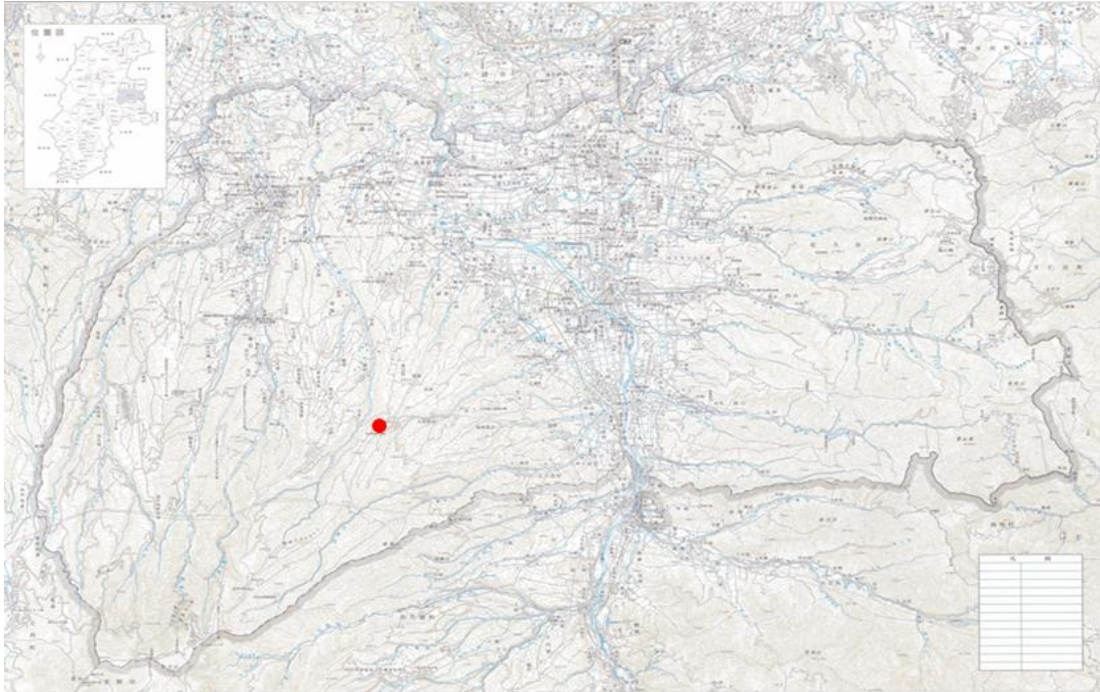
出典

※1 環境省ホームページ

外来種写真集 (<https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/asimg.html>) を加工して作成

※2 長野県環境保全研究所より提供の画像を加工して作成

分布図



食用や釣り対象魚として大正時代に日本に持ち込まれ、総称「ブラックバス」として知られています。報告いただいた2件は、いずれもオオクチバスで、場所は美笹湖でした。

ルアーフィッシングを行える場所を増やすため、意図的に各地の河川や湖沼に密放流された例もあったと言われています。飼育したり、生きたまま運んだり、別の場所に放したりすることは外来生物法で禁止されていますので、注意しましょう。

どうやって駆除するの？

捕まえて、川や池から取り除くという方法が一般的に行われています。釣ったり網ですくったり定置網を仕掛けたりと様々な手法が用いられますが、近年は電気ショッカーの利用も増えてきました。

また、オオクチバス等が卵を産みたくなるような人工産卵床を作り、産卵したら装置を陸に引き上げるといふ、繁殖を妨害して次第に数を減らしていく方法もあります。

駆除した個体を、食材やたい肥として活用する取組も進んでいるようです。

第2章 調査対象種以外

報告件数 808件（全報告数923件の内数）

2-1 昆虫類

報告件数 334件／808件中

	種類	発見場所（発見日）
1	アオモンイトトンボ	1箇所（8/16）
2	アオオサムシ	杉の木貯水池（5/16）、虚空蔵山（7/18）
3	アオハダトンボ	杉の木貯水池（5/22）
4	アカトンボ	千曲川（10/11）、さくらさく小径、ほか2箇所（8/15、9月）
5	アカハナカミキリ	旧美笹自然園（8/9）
6	アカボシゴマダラ	虚空蔵山（5/30）、杉の木貯水池（7/27）、東立科（8/5）
7	アキアカネ	美笹（8/19）、千曲川（10/11）
8	アゲハチョウ	中込小学校（8/15）、ほか1箇所
9	アサギマダラ	茂田井観音峯（6/29）
10	アシナガバチ	4箇所（5/3、5/4、8/5）
11	アナアキゾウムシ	平尾山（5/25）
12	アブ	1箇所（8/4）
13	アメンボ	小田井（5/21）
14	アリ	33箇所（4/27、4/30、5/1、5/2ほか）
15	イトトンボ	臼田総合運動公園（5/4）、小田井（5/21）、ほか3箇所（5/6、8/6）
16	イナゴ	1箇所（7/27）
17	ウスバカゲロウ	虚空蔵山（7/14）
18	ウラゴマダラシジミ	虚空蔵山（6/19）
19	エゾハルゼミ	2箇所（8/1）
20	エンマコオロギ	千曲川（10/11）
21	オオウラギンヒョウモン	旧美笹自然園（8/27）
22	オオミスジ	虚空蔵山（7/10）

23	オオミズスマシ	千曲川 (6/18)
24	オニヤンマ	野沢体育センター (8/7)、岩村田西本町 (9/5)、 ほか2箇所 (6/11、9月)
25	蚊	5箇所 (5/1、5/4、5/6、8/21)
26	蛾	1箇所 (5/6)
27	ガガンボ	2箇所 (5/6、11/18)
28	カゲロウ	1箇所 (8/16)
29	カナブン	中込小学校 (8/20)、ほか2箇所 (6/26、8/28)
30	カブトムシ	駒場公園 (8月)、中込 (8/12)、ほか8箇所 (5/2、 8/3、8/8、8/17、8月)
31	カマキリ	岩村田西本町 (9/8)、千曲川 (10/11)、ほか7箇所 (5/1、5/5、5/14、6/18、9/3)
32	カミキリムシ	1箇所
33	カメムシ	3箇所 (11/10、11/15)
34	カラスアゲハ	2箇所 (5/3、8/17)
35	カラストンボ	さくらさく小径 (8/2)、ほか1箇所
36	キアシナガバチ	旧美笹自然園 (8/27)
37	キイロスズメバチ	中込小学校 (8/20)
38	キボシカミキリ	1箇所 (6/10)
39	キマダラエダシャク	岩村田西本町 (9/25)
40	クサカゲロウ	虚空蔵山 (7/10)
41	クジャクチョウ	塚原 (6/18)
42	クマバチ	臼田総合運動公園 (5/4)、ほか6箇所 (5/1、5/5、 5/18、6/23)
43	クルマバッタ	千曲川 (10/11)、ほか2箇所 (8/2、8/20)
44	クルマバッタモドキ	千曲川 (10/11)
45	クロコガネ	中込小学校 (8/20)
46	クロヤマアリ	中込小学校 (8/15)
47	クワガタ	駒場公園 (8月)、ほか9箇所 (6/17、7/19、8/5、 8/8、8/10、8/13、8月、9月)
48	ゲンゴロウ	塚原 (9/17)
49	コオロギ	千曲川 (10/11)、ほか2箇所 (8/3、9月)
50	コガネムシ	3箇所 (5/16、7/26、8/20)
51	ゴキブリ	4箇所 (6/16、8/11、11月)
52	コクワガタ	さくらさく小径 (8/2)
53	コジャノメ	虚空蔵山 (5/16)
54	コフキトンボ	1箇所 (8/20)

55	ゴマダラカミキリ	杉の木貯水池 (8/3)
56	ゴマダラチョウ	杉の木貯水池 (8/18)
57	シオカラトンボ	千曲川 (10/11)
58	シジミチョウ	臼田総合運動公園 (5/4)
59	ジャノメチョウ	塩名田 (7/11)
60	ショウリョウバッタ	千曲川 (10/11)、ほか2箇所 (7/27、8/19)
61	スジグロシロチョウ	杉の木貯水池 (6/12)
62	スズムシ	1箇所
63	スズメバチ	6箇所 (4/28、8/8、8/14、9/30、9月)
64	スミナガシ	平尾山 (8/11)
65	セミ	虚空蔵山 (7/26)、駒場公園 (8/12、8/20)、ほか1箇所 (8/1)
66	チャイロスズメバチ	杉の木貯水池 (8/16)
67	チョウ	茂田井観音峯 (6/27)、ほか9箇所 (4/27、4/28、5/2、5/21、8/9、8/15、8/20、9/16、11/16)
68	チョウトンボ	旧美笹自然園 (8/27)
69	ツクツクボウシ	臼田 (8/15)
70	テントウムシ	東小学校付近 (4/28)、駒場 (5/2)、ほか6箇所 (5/1、5/6、5/13、8/3、10月)
71	トノサマバッタ	平尾山 (8/19)
72	トラガ	虚空蔵山 (6/13)
73	トラフシジミ	杉の木貯水池 (7/3、7/14)
74	トリバガ	岩村田西本町 (9/13)
75	トンボ	平尾山 (7/23)、切原児童館 (8/7)、駒場公園プール (8/10)、駒場公園 (8/20)、千曲川 (10/11)、ほか23箇所 (4/21、7/26、7/27ほか)
76	ナツアカネ	1箇所 (8/16)
77	ナナホシテントウ	小田井 (5/21)
78	ノコギリグリガタ	平尾山 (7/30)、ほか3箇所 (8/1、8/3)
79	ハエ	6箇所 (5/4、5/6、5/17、6月、7月)
80	ハグロトンボ	さくらさく小径、ほか2箇所 (7/26、7/31)
81	ハチ	平尾山 (8/19)、千曲川 (10/11)、ほか15箇所 (5/3、5/4、5/5、5/6、5/10、5/19ほか)
82	バッタ	さくらさく小径 (7/27)、千曲川 (10/11)、ほか6箇所 (5/4、8/12、8/21、8月、9/20)
83	ハバチ	1箇所 (5/3)
84	ヒメアカタテハ	千曲川 (8/16)
85	ヒメギス	平尾山 (5/25)

86	ヒメギフチョウ	美笹 (5/1)
87	ホソヘリカメムシ	虚空蔵山 (8/13)
88	ホタル	1箇所 (6/16)
89	マゴタロウムシ	望月 (5/4)
90	マドガ	虚空蔵山 (7/26)
91	マユタテアカネ	美笹 (8/19)
92	ミツバチ	5箇所 (4/28、5/1、7/27、8/9、8/10)
93	ミヤマカミキリ	杉の木貯水池 (7/27)
94	ミヤマクワガタ	1箇所 (8月)
95	ミンミンゼミ	1箇所 (8/18)
96	モンキチョウ	2箇所 (5/3、8/16)
97	モンシロチョウ	駒場 (4/29)、臼田総合運動公園 (5/4)、ゆりの木公園 (5/13)、岩村田西本町 (6/12)、佐久平浅間小学校 (6/23)、さくらさく小径 (7/27)、長野県立武道館 (7/30)、岩村田西本町 (10/5)、ほか8箇所 (4/26、5/3、5/18、8/8、8/15、8/18)
98	ヤマトスジグロヘビトンボ	平尾山 (6/19)
99	ルリイトトンボ	岩村田西本町 (6/9)
100	ルリボシカミキリ	杉の木貯水池 (7/29)

調査員からの写真



アカボシゴマダラ(東立科)



アナアキゾウムシ(平尾山)



カマキリ(岩村田)



モンシロチョウ(岩村田)



ゲンゴロウ(塚原)



トンボ(平尾山)



アサギマダラ(茂田井)

2-2 植物類

報告件数 94件／808件中

	種類	発見場所(発見日)
1	アカネスミレ	1箇所 (4/27)
2	アサガオ	2箇所 (6/26、7/28)
3	オオイヌノフグリ	3箇所 (4/22、5/5、5月)
4	オオキンケイギク	岩村田西本町 (6/18)
5	オカワサビ	1箇所 (5/30)
6	オニタビラコ	岩村田西本町 (6/7)
7	カタバミ	岩村田西本町 (5/16、6/12)
8	キツネノカミソリ	平尾山 (8/11)
9	キャットミント	東小学校 (4/26)
10	ギンラン	旧美笹自然園 (5/21)
11	クリンソウ	春日 (5/6)
12	クローバー	5箇所 (5/3、5/6、5/19、11月)
13	コキア	岩村田西本町 (10/12)
14	コスモス	千曲川 (10/11)、ほか1箇所 (8/20)
15	コナギ	さくらさく小径 (10/4)
16	サクラ	2箇所 (5/2、5/14)
17	サルスベリ	臼田 (8/21)
18	シダ	2箇所 (5/4、7/31)
19	シバザクラ	3箇所 (5/1、5/13)
20	シロツメクサ	1箇所 (8/15)
21	ススキ	千曲川 (10/11)、ほか1箇所 (11/15)
22	スズラン	1箇所 (5/10)
23	セイタカアワダチソウ	岩村田西本町 (10/22)
24	竹	うすだスタードーム (5/4)
25	タチツボスミレ	1箇所 (4/27)
26	タニギキョウ	旧美笹自然園 (5/21)
27	タネツケバナ	1箇所 (5/4)
28	タラノキ	小田井 (5/21)
29	タンポポ	12箇所 (4/21、5/1、5/3、5/4、5/6ほか)
30	チチコグサモドキ	岩村田西本町 (6/26)
31	チューリップ	2箇所 (4/30、5/2)
32	ツクシ	1箇所 (8/20)

33	ツツジ	1箇所 (5/3)
34	ツルキケマン	旧美笹自然園 (8/25)
35	トキワハゼ	岩村田西本町 (5/12)
36	ナズナ	1箇所 (5/4)
37	ネコジャラシ	1箇所 (8/8)
38	ハハコグサ	岩村田西本町 (6/8)
39	ハルジオン	さくらさく小径 (7/27)、他 1箇所 (5/3)
40	ヒガンバナ	さくらさく小径 (9/30)、他 1箇所 (8/6)
41	ヒメアマナ	平尾山 (4/13)
42	ヒメオドリコソウ	2箇所 (4/22、5/3)
43	ヒメキンミズヒキ	平尾山 (8/11)
44	ヒロードモウズイカ	岩村田西本町 (8/12)
45	フジ	2箇所 (5/5)
46	ボケ	1箇所 (5/3)
47	ボタン	2箇所 (4/27、4/30)
48	ポピー	望月古道西原 (5/10)
49	ミズオオバコ	さくらさく小径 (8/26)
50	ミズナラ	杉の木貯水池 (7/8)
51	ムラサキツメクサ	さくらさく小径 (7/27)
52	ヤマウルシ	平尾山 (8/19)
53	ヨモギ	2箇所 (5/11、5/17)
54	ルピナス	1箇所 (5/5)

調査員からの写真



カタバミ(岩村田)



ヒメアマナ(平尾山)



キツネノカミソリ(平尾山)



コナギ(さくらさく小径脇水田)

2-3 魚類・両生類・は虫類

報告件数 78件／808件中

	種類	発見場所(発見日)
1	アブラハヤ	常和 (8月)
2	アヤメ	香坂 (5/5)
3	ウシガエル	1箇所
4	カエル	東小学校 (4/26)、望月小学校付近 (5/15)、小田井 (5/21)、さくらさく小径 (8/13)、ほか 31 箇所 (4/24、4/27、4/28、5/1、5/2、5/3 ほか)
5	カジカ	望月 (5/4)
6	カナヘビ	3箇所 (5月、8/8、10月)
7	カメ	杉の木貯水池 (6/30)
8	クロメダカ	桜井 (9/9)
9	シマドジョウ	桜井 (9/9)
10	シマヘビ	4箇所 (5月、6/29、7月、10/2)
11	ジムグリ	平尾山 (10/13)
12	トウキョウダルマガエル	1箇所 (8/28)
13	トカゲ	2箇所 (8/12、9月)
14	トノサマガエル	2箇所 (4/24)
15	ニホンアマガエル	1箇所 (5/19)
16	ハヤ	千曲川 (5/20)、ほか 1 箇所 (4/30)
17	ブルーギル	美笹湖 (1/20)
18	ヘビ	2箇所 (5/23、6/29)
19	ホトケドジョウ	千曲川 (6/18)、桜井 (9/9)
20	メダカ	千曲川 (8/10、10/11)、ほか 2 箇所 (5/5、8/2)
21	モツゴ	千曲川 (6/18)
22	ヤマカガシ	1箇所 (4/27)
23	ヤマメ	千曲川 (5/20)、常和 (8月)
24	ヤモリ	1箇所 (6/17)
25	名称不明	千曲川 (10/11)

調査員からの写真



ホトケドジョウ(桜井)



カメ(杉の木貯水池)

2-4 鳥類

報告件数 180件／808件中

	種類	発見場所(発見日)
1	アオゲラ	杉の木貯水池 (12/25)
2	アオサギ	浅科 (5/6)、杉の木貯水池 (5/23、12/4)、ほか1箇所 (5/14)
3	アオバト	協和 (7/5)
4	アカゲラ	駒場公園付近 (4/11)
5	アトリ	杉の木貯水池 (12/4)
6	アメリカヒドリ	杉の木貯水池 (11/4)
7	イソシギ	杉の木貯水池 (12/4)
8	イツツバメ	杉の木貯水池 (4/28)
9	ウグイス	常和(5/16)、杉の木貯水池(12/4)、ほか2箇所(5/3、5/5)
10	ウミネコ	杉の木貯水池 (6/25)
11	エナガ	杉の木貯水池 (12/4)
12	オオタカ	千曲川 (12/28)
13	オオバン	杉の木貯水池 (7/27、12/4)
14	オカヨシガモ	杉の木貯水池 (12/4)
15	オシドリ	杉の木貯水池 (4/17)
16	オナガ	1箇所 (7/2)
17	オナガガモ	杉の木貯水池 (12/4)
18	カイツブリ	杉の木貯水池 (12/4)
19	カッコウ	塚原 (5/13)、ほか1箇所 (6/23)
20	カモ	千曲川 (10/11)、ほか4箇所 (4/27、5/3ほか)
21	カラス	9箇所 (4/21、4/27、4/29、5/1、5/4ほか)
22	カワウ	杉の木貯水池 (12/4)
23	カワガラス	協和 (5/3)
24	カワセミ	杉の木貯水池 (12/4)
25	カワラヒワ	志賀 (5/31)、杉の木貯水池 (12/4)
26	カンムリカイツブリ	杉の木貯水池 (4/24、6/12、12/4)
27	キクイタダキ	駒場公園 (12/26)
28	キジ	常和(5/16、7/16)、志賀(5/31)、ほか5箇所(4/27、5/3、5/4、5/31、9/28)
29	キジバト	杉の木貯水池 (12/4)、ほか1箇所 (4月)
30	キセキレイ	美笹 (5/21)、杉の木貯水池 (12/4)

3 1	キツツキ	駒場公園 (5/3)
3 2	キビタキ	駒場公園 (5/3)、虚空蔵山 (7/10)
3 2	キンクロハジロ	杉の木貯水池 (12/4)
3 3	クサシギ	杉の木貯水池 (12/4)
3 4	クロサギ	1 箇所 (5/14)
3 5	コガモ	杉の木貯水池 (12/4)
3 6	コガラ	平尾山 (4/20)
3 7	コゲラ	猿久保 (6/25)、杉の木貯水池 (12/4)
3 8	コサメビタキ	駒場公園 (6/13)、虚空蔵山 (7/14)
3 9	ゴジュウカラ	旧美笹自然園 (10/24)
4 0	コジュリン	杉の木貯水池 (4/6)
4 1	コマドリ	志賀 (5/14)
4 2	サギ	上原 (5/6)、北耕地 (8/20)、ほか 1 箇所 (5/19)
4 3	サンショウクイ	平尾山 (8/25)
4 4	シジュウカラ	杉の木貯水池 (12/4)、ほか 2 箇所 (10 月、11/26)
4 5	シメ	杉の木貯水池 (12/4)
4 6	ジョウビタキ	志賀 (6/24)、杉の木貯水池 (12/4)、ほか 1 箇所 (4/28)
4 7	シラサギ	志賀川 (5/4)、ほか 3 箇所 (5/2、5/14、5 月)
4 8	スズガモ	杉の木貯水池 (12/4)
4 9	スズメ	長土呂 (4~5 月)、杉の木貯水池 (12/4)、ほか 7 箇所 (5/3、5/5、5/21、8/2、8/11、10 月ほか)
5 0	セグロセキレイ	杉の木貯水池 (12/4)
5 1	ダイサギ	杉の木貯水池 (12/4)
5 2	タカ	琵琶島橋 (5/6)、成知公園 (8/13)、千曲川 (10/11)
5 3	チョウゲンボウ	春日 (5/6)、協和 (5/6)
5 4	チョウサギ	杉の木貯水池 (10/5)
5 5	ツグミ	杉の木貯水池 (12/4)
5 6	ツツドリ	杉の木貯水池 (9/15)
5 7	ツバメ	佐久市役所 (4/25)、岩村田西本町 (5/24)、中込 (5/31)、ほか 7 箇所 (4/25、5/2、5/4 ほか)
5 8	トビ	千曲川 (10/11)、杉の木貯水池 (12/4)
5 9	トンビ	千曲川 (10/11)
6 0	ノスリ	協和 (7/10)
6 1	ハクセキレイ	杉の木貯水池 (12/4)
6 2	ハクチョウ	滑津橋 (7/26)
6 3	ハシビロガモ	杉の木貯水池 (12/4)

64	ハシブトガラス	杉の木貯水池 (12/4)
65	ハシボソガラス	杉の木貯水池 (12/4)
66	ハト	安原 (5/5)、中込 (11/15)
67	ヒドリガモ	杉の木貯水池 (12/4)
68	ヒヨドリ	杉の木貯水池 (12/4)
69	ホオジロ	杉の木貯水池 (12/4)
70	ホシハジロ	杉の木貯水池 (12/4)
71	マガモ	杉の木貯水池 (12/4)
72	ミコアイサ	杉の木貯水池 (12/4)
73	ムクドリ	杉の木貯水池 (12/4)
74	メジロ	香坂集会所 (12/28)
75	メジロガモ	杉の木貯水池 (11/19)
76	モズ	杉の木貯水池 (12/4)
77	ユリカモメ	杉の木貯水池 (12/17)
78	ヨシガモ	旧美笹自然園 (4/19)
79	ワシ	1箇所
80	名称不明	2箇所 (5/4、7/27)

調査員からの写真



ツバメ (岩村田)



アカゲラ (駒場公園付近)



キビタキ (駒場公園)



オオタカ (野沢橋付近)



アオサギ (杉の木貯水池)



キジ (根岸)

2-5 ほ乳類

報告数 67件/808件中

	種類	発見場所(発見日)
1	イノシシ	アヴェニュー (10/21、10月)
2	カモシカ	2箇所 (5/6、10/16)
3	キツネ	北耕地 (4月)、内山 (4/12、7月、11月)、下平尾 (7月)、北川 (9/16)、平賀新町 (10/12)、常和 (10月)、ほか7箇所 (5/12、6/15、6/27、11/14)
4	コウモリ	東中学校 (5/5)、中込 (8/16)、駒場公園 (9/4)、ほか1箇所 (5/6)
5	サル	望月 (9月)、ほか1箇所
6	シカ	アヴェニュー (5/6、10月)、望月 (7/15、9月)、内山 (11/15)、ほか4箇所 (5/21、9月)
7	タヌキ	北耕地 (4月)、アヴェニュー (5/13、5/19)、西耕地 (5月)、望月 (9/16)、あさしな保育園 (10/2)、ほか8箇所 (5/12、9/26、9/27、11/2、11/9、11/11ほか)
8	ニホンザル	協和 (5/9)
9	ニホンジカ	協和 (5/3、6/17)
10	ネコ	望月 (9/9)、ほか10箇所 (5/13、8月、10/1ほか)
11	ホンドギツネ	瀬戸 (10/4)
12	モグラ	塚原 (5月)
13	小熊	布施 (6/27)
14	名称不明	旧平賀保育園 (5/21)、ほか1箇所 (12/16)

調査員からの写真



シカの足跡 (協和)



コウモリ (岩村田)

2-6 その他

報告数 55件/808件

	種類	発見場所(発見日)
1	カタツムリ	望月 (5/16)、ほか2箇所 (5/7、5/16)
2	カニ	平賀 (5/11)、常和 (5/16、11月)
3	カブトエビ	小田井 (5/21)
4	カワエビ	1箇所 (4/30)
5	クモ	駒場公園 (5/3)、ほか17箇所 (4/27、4/28、5/1、5/4、5/17、6/24、7/30、8/12、8/13ほか)
6	ゲジゲジ	1箇所
7	サワガニ	常和 (5/16)、ほか1箇所 (7/14)
8	シロソウメンタケ	駒場公園 (7/9)
9	スジエビ	千曲川 (6/18)
10	ダニ	3箇所 (5/15、5/21)
11	タニシ	1箇所 (5/7)
12	ダンゴムシ	8箇所 (5/2、5/6、5/7、5/17、6/4ほか)
13	ナメクジ	1箇所 (8/16)
14	マダニ	根岸 (7/19)
15	ミナミヌマエビ	桜井 (9/9)
16	ミミズ	成知公園 (8/7)、ほか8箇所 (4/24、5/4ほか)

調査員からの写真



ミナミヌマエビ (桜井)

調査員から寄せられた感想

(個人情報保護等のため一部変更、省略しています。)

- ・あまりたくさん見つけられなかったけど、コウモリとか、ふだんはあまりみられない生きものも見る事ができてよかったです。
- ・いろいろなところに、たくさん生きものがあるんだなと思いました。また、身近な所でいろいろ生きものが見つけれられるから、こんどからたくさんみつきたいなと思いました。
- ・生きものがあるということは、それだけかんきょうがよい場所ということが分かった。
- ・生き物さがしをやってみて、いろいろな植物やいろいろな虫にであえてとても楽しかったし、いろいろな花の名前やいろいろな虫の名前を知れてとてもうれしかったです。
- ・春になると冬にはいなかった生きものがたくさん見れて楽しかったです。
- ・庭とか草がはえているところにいっぱい虫がいます。思ったよりうごきがはやくてすばしっこかった。
- ・みのまわりをよくみれば知らない生きものやしょくぶつがあることがしれました。私は生きものがにがてだったけど、これをきっかけに生きものがすきになりました。
- ・自分の身の回りには、こんなにいろんな生き物があるんだと思いました。これからも、生き物をとったり、きずつけることのないように、大切にしていきたいです。
- ・外に出ることがなかったから、生き物や植物があまり見られなかったけど、次はもっと外に出ていろいろな生き物や植物を見て佐久市のことをもっと知りたいです。あと、めずらしい生き物や植物もさがしたいです。

考察専門員の先生から

・木内 清 先生（鳥類）

フクロウは、出会うことが難しい鳥ですが、9件も報告があり貴重な資料になりました。令和2年度と合わせてみると、里山で多く観察され、時には人家近くにも出現していることが分かりました。フクロウは食物連鎖の頂点に立つ鳥ですから、生物多様性が保たれているかどうかのバロメーターにもなります。このフクロウが市街地を除いたほぼ全域で見られることはうれしいことです。

・篠澤 明剛 先生（哺乳類、魚類、両生類、爬虫類）

■ミンク

かつて千曲川の最上流地域の川上村周辺で、毛皮利用のためにミンク飼育を行ったそうです。ここで飼育されていたミンクが逃げ出し、下流域に繁殖エリアを増大しつつあるようです。以前は佐久市高瀬付近の千曲川流域でもみられたと言われます。また漁業への影響も出ています。

昭和30年代までは佐久市内でニホンカワウソの目撃例もありましたが、ニホンカワウソは姿を消し、特定外来生物であるミンクが増えている現状は悲しいものがあります。

なお、罠にかかった個体や、弱った個体に関しては、噛み付く可能性もありますので、近づかないように気をつけて頂きたいものです。

■オオクチバス・コクチバス

昭和50年代に佐久市内の溜池の水抜きを行ったところ、オオクチバスが放流されていたことが確認されました。以来、市内各地でオオクチバスが繁殖して、生態系に悪い影響を与えているようです。

佐久市内には各地に溜池や貯水池やダムなどがありますが、その多くでバス類をみかけるようになりました。その多くが密放流によって、生息場所が拡大したものと思われます。

バス類は繁殖力が強く、在来の魚類や昆虫や両生類などを捕食し、また漁業への影響も深刻なので、駆除活動も必要になります。平成以降はコクチバスも確認されていて、今後の推移を見守りたいと思います。

・沼田 清 先生（魚類）

佐久市を南北に流れる千曲川とその支流は、2019年10月12日の台風19号の被害を受けて、様子が一変しました。川の生き物たちは住みやすい場所を失い、美味しい餌となる川の虫がいなくなったりして、大きく様子が変わってしまいました。

再び鳥や魚や虫たちや植物などの色々な生き物が住みやすい川に戻さなければなりません。役所や企業や学校や大人も子どももみんな一緒になって川に親しみ、毎日の一寸した変化も見逃さず、その様子を観察することは川の美しさを保つ大変意義のあることです。

・佐藤 文一 先生（植物類）

サクラソウの花には3つの形があります。これは自家受粉を防ぐため、長花柱花（雌しべの花柱が長いタイプ）、短花柱花（雌しべの花柱が短いタイプ）、等花柱花（雌しべと雄しべが同じ長さ）があります。花の形にも注目して観察してみてください。

また、近年話題になった香坂山遺跡ですが、太古の時代、佐久平は草原だったかもしれないということです。万葉集の山上憶良の歌で

「秋の野に咲きたる花を指（および）折りかき数ふれば七種（ななくさ）の花」
「萩の花尾花（をばな）葛花（くずはな）なでしこの花をみなえしまた藤袴（ふじばかま）朝顔の花」

と詠まれています。これらは草原に咲く花で、なかでもカワラナデシコ、オミナエシ、キキョウなどは見られなくなってきています。太古の時代に想いを馳せて興味を持っていただければと思います。

まとめ

今回の調査では、第二次佐久市環境基本計画の指標生物の中から5種を選定し、その全てについて報告がありました。

中でも、夜行性であるフクロウ類や水中に生息しているオオクチバス・コクチバスは、意識しても姿を見ることが難しかったと思いますが、複数の発見報告をいただくことができました。フクロウ類については、令和2年度調査と比較して報告件数は減少したものの、異なる場所からの報告が多数あり、市内の広範囲に生息していることがうかがえます。

オオムラサキ及びサクラソウといった絶滅が危惧されている生きものについても、これまでにない場所からの報告があったことは興味深いことであるとともに、今後も注視していく必要があります。

また、特定外来生物であるミンクとオオクチバス・コクチバスは、今回初めて対象種となったこともあり、その数や生息場所を過去と比較することはできませんが、市内に定着している状況から、生態系や漁業への影響が心配されます。

なお、今回の調査では、自宅や公園、通学路など、報告者の身近な場所での生きものの報告が目立ちました。調査の感想の中にも、「よくみると色々な生きものがいる」「名前や特徴を知りたくなった」などの声をいただいております。身近な自然環境への興味関心を高めていただくきっかけになれば幸いです。

佐久市の多種多様な生物や生息環境を保全し、その恩恵の将来への継承を目指すため、今後も定期的に経過を観察していきたいと思っております。

最後になりますが、ページの都合によりお寄せいただいた写真や感想のすべてをご紹介できませんでしたことをお詫びするとともに、今年度も多くの皆様に調査にご協力いただきましたことを改めて感謝申し上げます。

(文責:環境政策課)



編集

佐久市役所 環境部 環境政策課

電話 : 0267-62-2917

F A X : 0267-62-2289

令和6年3月